

憲法改正チラシを配布

小渕会長以下、県理事役、四街道支部会員は、4月29日（昭和の日）、8時半から10時まで、四街道市憲法改正市民の会、県自衛隊協力会連合会等、関係者の協力を得て、国民運動の一環として下志津駐屯地周辺で憲法改正チラシ・パンフレット約1,500枚を配布した。

第63回下志津駐屯地創設記念行事（つづり祭り）見学のために来訪した市民に「美しい日本の憲法をつくる国民の会」作成の「ありがとう自衛隊」のチラシ等を受け取って頂き、憲法改訂に対する关心の高まりに、いくばくか寄与できた。今後、機会をとらえ、この種活動を行っていきたい。

【事務局】



事務局からのお願い
6月19日の隊友会定時総会での議決権行使を宜しくお願ひします。議決権行使用ハガキが同封または配付された方は、必要事項を記入し、6月5日までに投函して下さい。今年度は、隊友会定款の改正があり、正会員の3分の2以上の賛成が必要です。

事務局からのお願い

美しい日本の憲法を作る
國民の会 憲法改訂賛同
1000万人署名達成中
中央大会に参加
3月14日（水）、17時から憲政記念館にて会に賛同する個人・団体等800名が参加して、憲法改訂賛同1000万人署名達成中央大会が開催された。

会場全員による国歌斉唱の後、櫻井よし

こ同会共同代表の基調提言があった。その

中で、氏は、「自衛官は、事に臨んでは危

険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、

国民の負託にこたえると宣誓して入隊して

いる。これまで1,800人の隊員が殉

職している。一方、現憲法では、自衛隊は

全く無視され、かつては白い目で見られ、

憲法に違反していると言う人さえいる。こ

れは、おかしいではないか。これまで国を

守って来た自衛隊に対し申し訳ないではな

いか。我々が訴えている憲法改訂は、この

ような憲法「日本の心を入れるものだ。」

と強調された。

その後、超党派の出席国会議員45名の紹介、古屋圭司自民党憲法改訂推進本部顧問、齊藤鉄夫公明党幹事長代行、松沢成文希望の党参議院議員団代表、馬場伸幸日本維新的会幹事長の各党代表から挨拶があり、今、党内で行われている憲法改訂論議の現状を紹介された。続いて田久保忠衛同会共同代表、松尾新吾美しい日本の憲法をつくる福音県民の会協同代表、若者を代表してNIPP

ON憲法PROJECT in OSAKAの濱野夕希子が憲法改訂発議・国民投票への提言を行った。大会決議では、「国民の9割が支持する「自衛隊の根拠規定を憲法に明記する。」、大規模災害に際し、国民の生命と安全を守る緊急事態条項を憲法に新設する。」の2点を強く要望した。最後に有村治子参議院議員の5本締めで締めくくり、勝闘を上げた。

4月7日（土）8時から春の大祭に備え、会員29名で神社境内の清掃を行った。

初参加の首藤千葉美浜支部長、同支部石井

会員、柏支部笠水上会員、沼南支部川畑

員、山武東金支部高星会員には大いに活躍

して頂いた。また、千葉県郷友会から、鈴

木純夫会長、臼井久美子会員など5名が参

加された。前夜から強風雨に見舞われる天

氣でしたが、作業開始時にはすっかり雨も

上がり、作業は8時頃から早めに到着した

会員により開始され、強風でなぎ倒された

枝が散乱していたが11時半まで境内裏側を

含む全域を綺麗にした。

4月10日（火）、大祭当日は、会員12名で7時半から参拝車両の交通統制を行った。祭典での奉昇には船橋支部の神谷会員及び 笹野会員が当たり、無事任務を終えた。また、千葉県隊友会詩吟同好会（四街道支部）以下6名の会員が、「レイテ決戦」、「九段の桜」を奉詠された。

在葉部隊指揮官の交代

3月の定期異動で在葉部隊の指揮官が交代した。

県会長、副会長、関係理

事役及び近傍支部長は、交代部隊長を表敬訪問し、相談役就任をお願いした。



【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000~1500 山田理事役

隊友千葉だより

平成30年5月号 (No.53) 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

子船橋市議会議員、阿部治夫四街
実・齊藤守各千葉県議会議員、野
田宏規流山市議会議員、鈴木ひろ
子船橋市議会議員、阿部治夫四街
官12名、第1師団副師団長、阿井
伸也・臼井正一・小池正昭・中村
山宏哲・木村哲也各衆議院議員、
佐渡斎四街道市長、在葉部隊指揮
官12名、第1師団副師団長、阿井
伸也・臼井正一・小池正昭・中村
その後、17時から櫻田義孝・門
幹雄・浜田靖一・野田佳彦・渡辺
博道・蘭浦健太郎・齊藤健・白須
賀貴樹各衆議院議員、佐藤正久・
石井準一・宇都隆史・豊田俊郎・
元榮太一郎各参議院議員、個人
特別会員、千葉県防災危機管理
部並びに友好団体会長等、来賓56
名を迎えて、懇親会を行った。



会は、県会長挨拶に続き、国会議員の方々、海自教育航空集団司令官の乾杯で幕を開け、途中、到着された奥野総一郎衆議院議員の挨拶をはさみ、和気あいあい賑やかに進行し、寺島泰三日本郷友連盟会長の中締めで閉じた。



感謝状贈呈 浅岡下総教育航空群司令官



祝辞 国会議員の皆様



千葉県と災害協定を締結

県隊友会は、3月22日(木)千葉県庁において、「災害時における隊友会の協力に関する協定」を締結した。本協定は、昨年2月千葉県議会で「千葉県も他県同様に隊友会との間で災害協定を結ぶ必要があるのではないか」という提案があり、その後、県庁危機管理課から隊友会に災害協定締結の要望があり、約一年間かけて検討した結果、協定を結ぶことになった。この間、千葉県隊友会として県から要望された協力内容について実行の可能性などの検討を行い、各支部からの意見、支部での説明会の実施及び県が管理する防災備蓄倉庫の研修など各支部の協力を得て意見集約を行った。とともに県庁危機管理課と調整して協定書を作成した。協定締結式は、県側から森田県知事、横山防災危機管理部長、関口防災対策室長及び防災担当者(危機管理課副参事)荒井氏(陸自OB)等)が参加し、隊友会からは、小渕会長、安達・田中副会長、精山事務局長及び天草・大根防災担当理事役の6名が参加した。締結にあたって、森田県知事からお礼とともに心強く感じている旨の挨拶があり、小渕会長からは「県民の安全安心のため、誠心誠意尽力したい」と挨拶した。協定締結後、新聞社の記者会見、写真撮影が行われた。

本協定における隊友会の協力事項は、

1 情報の収集・提供(リエゾン(情報連絡員)派遣を含む。)

2 災害対策本部業務に係る技術的助言

3 県防災備蓄品の払出し作業

4 ウエブサイト「減災プロジェクト」への投稿

5 その他、千葉県が管内市町村に対する支援等を円滑に行うための事務及び作業

の5項目。特に、3項「県防災備蓄品の払出し作業」の協力は、県内で災害が発生した際に、県の要請を受け、県内10万所に配置されている防災備蓄倉庫からいち早く防災物品・資材を払出す作業協力であり、全国各県の協定にはない千葉県としての特色ある協力内容である。今後、県としては、協定締結をスタートラインとして、県の体制充実などを図るとともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

ともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

「四街道市憲法改正推進市民の会」発会の会

3月31日(土)、10時から四街道市文化センター会議室において、中尾英夫四街道支部長(市民の会事務局長)が中心となり発会の会を開いた。来賓として、奥野統一郎衆議院議員、佐渡齊四街道市長、池田由紀子千葉県自衛隊協力会連合会事務局長、斎藤守船橋市議会議員秘書黒坂氏などが参加された。県隊友会からは小渕会長、内田八街支部長、鬼島前八街支部長、若梅山武東金支部長、大根・筒井各理事役、事務局長、会員が参加した。

最初に副会長である吉成庸子氏、理事長である佐々木英嗣氏(四街道支部会員)の挨拶に続き、中尾同会事務局長から規約(案)、組織・役員(案)、活動方針(案)などの説明の後、質疑・議決が行われ、異議なく発会が承認され、同会は発会した。

中尾事務局は、「今、憲法改正について、反対意見のみが目立っている。今後、憲法に対する認識が深まり、議論が進むよう、小さな一步を踏み出しが大切と考え、発会を目指して来た。今後、多くの市民に参加して貢うよう活動して行きたい」と発会の抱負を述べた。

佐渡四街道市長は、「隊員・家族を含めて自衛隊が活動しやすい環境を作ることが大切である」と述べられ、また奥野衆議院議員は、「北朝鮮有事で邦人救出はどうす

るかなご現実的な議論が必要、また国会でも国民や国を守っていくためどうするか議論することが必要、憲法改正是反対の人を含めて議論を深めていくべき」と述べられた。

会は、「静観することなく、先ず学ばう」を合言葉に、今後、四街道市議団、県自衛隊家族会四街道支部、四街道市自衛隊協力会、隊友会四街道支部会員などが中心とな

り、憲法に関する勉強会や講演会を四街道市文化センターにおいて数次にわたって開催していく。【事務局】

3 県防災備蓄品の払出し作業

5 その他、千葉県が管内市町村に対する支援等を円滑に行うための事務及び作業

の5項目。特に、3項「県防災備蓄品の払出し作業」の協力は、県内で災害が発生した際に、県の要請を受け、県内10万所に配置されている防災備蓄倉庫からいち早く防災物品・資材を払出す作業協力であり、全国各県の協定にはない千葉県としての特色ある協力内容である。今後、県としては、協定締結をスター

トライノとして、県の体制充実などを図るとともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

ともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

「四街道市憲法改正推進市民の会」発会の会

3月31日(土)、10時から四街道市文化センター会議室において、中尾英夫四街道支部長(市民の会事務局長)が中心となり発会の会を開いた。来賓として、奥野統一郎衆議院議員、佐渡齊四街道市長、池田由紀子千葉県自衛隊協力会連合会事務局長、斎藤守船橋市議会議員秘書黒坂氏などが参加された。県隊友会からは小渕会長、内田八街支部長、鬼島前八街支部長、若梅山武東金支部長、大根・筒井各理事役、事務局長、会員が参加した。

最初に副会長である吉成庸子氏、理事長である佐々木英嗣氏(四街道支部会員)の挨拶に続き、中尾同会事務局長から規約(案)、組織・役員(案)、活動方針(案)などの説明の後、質疑・議決が行われ、異議なく発会が承認され、同会は発会した。

中尾事務局は、「今、憲法改正について、反対意見のみが目立っている。今後、憲法に対する認識が深まり、議論が進むよう、小さな一步を踏み出しが大切と考え、発会を目指して来た。今後、多くの市民に参加して貢うよう活動して行きたい」と発会の抱負を述べた。

佐渡四街道市長は、「隊員・家族を含めて自衛隊が活動しやすい環境を作ることが大切である」と述べられ、また奥野衆議院議員は、「北朝鮮有事で邦人救出はどうす

るかなご現実的な議論が必要、また国会でも国民や国を守っていくためどうするか議論することが必要、憲法改正是反対の人を含めて議論を深めていくべき」と述べられた。

会は、「静観することなく、先ず学ばう」を合言葉に、今後、四街道市議団、県自衛隊家族会四街道支部、四街道市自衛隊協力会、隊友会四街道支部会員などが中心とな

り、憲法に関する勉強会や講演会を四街道市文化センターにおいて数次にわたって開催していく。【事務局】

3 県防災備蓄品の払出し作業

5 その他、千葉県が管内市町村に対する支援等を円滑に行うための事務及び作業

の5項目。特に、3項「県防災備蓄品の払出し作業」の協力は、県内で災害が発生した際に、県の要請を受け、県内10万所に配置されている防災備蓄倉庫からいち早く防災物品・資材を払出す作業協力であり、全国各県の協定にはない千葉県としての特色ある協力内容である。今後、県としては、協定締結をスター

トライノとして、県の体制充実などを図るとともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

ともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

「四街道市憲法改正推進市民の会」発会の会

3月31日(土)、10時から四街道市文化センター会議室において、中尾英夫四街道支部長(市民の会事務局長)が中心となり発会の会を開いた。来賓として、奥野統一郎衆議院議員、佐渡齊四街道市長、池田由紀子千葉県自衛隊協力会連合会事務局長、斎藤守船橋市議会議員秘書黒坂氏などが参加された。県隊友会からは小渕会長、内田八街支部長、鬼島前八街支部長、若梅山武東金支部長、大根・筒井各理事役、事務局長、会員が参加した。

最初に副会長である吉成庸子氏、理事長である佐々木英嗣氏(四街道支部会員)の挨拶に続き、中尾同会事務局長から規約(案)、組織・役員(案)、活動方針(案)などの説明の後、質疑・議決が行われ、異議なく発会が承認され、同会は発会した。

中尾事務局は、「今、憲法改正について、反対意見のみが目立っている。今後、憲法に対する認識が深まり、議論が進むよう、小さな一步を踏み出しが大切と考え、発会を目指して来た。今後、多くの市民に参加して貢うよう活動して行きたい」と発会の抱負を述べた。

佐渡四街道市長は、「隊員・家族を含めて自衛隊が活動しやすい環境を作ることが大切である」と述べられ、また奥野衆議院議員は、「北朝鮮有事で邦人救出はどうす

るかなご現実的な議論が必要、また国会でも国民や国を守っていくためどうするか議論することが必要、憲法改正是反対の人を含めて議論を深めていくべき」と述べられた。

会は、「静観することなく、先ず学ばう」を合言葉に、今後、四街道市議団、県自衛隊家族会四街道支部、四街道市自衛隊協力会、隊友会四街道支部会員などが中心とな

り、憲法に関する勉強会や講演会を四街道市文化センターにおいて数次にわたって開催していく。【事務局】

3 県防災備蓄品の払出し作業

5 その他、千葉県が管内市町村に対する支援等を円滑に行うための事務及び作業

の5項目。特に、3項「県防災備蓄品の払出し作業」の協力は、県内で災害が発生した際に、県の要請を受け、県内10万所に配置されている防災備蓄倉庫からいち早く防災物品・資材を払出す作業協力であり、全国各県の協定にはない千葉県としての特色ある協力内容である。今後、県としては、協定締結をスター

トライノとして、県の体制充実などを図るとともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

ともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

「四街道市憲法改正推進市民の会」発会の会

3月31日(土)、10時から四街道市文化センター会議室において、中尾英夫四街道支部長(市民の会事務局長)が中心となり発会の会を開いた。来賓として、奥野統一郎衆議院議員、佐渡齊四街道市長、池田由紀子千葉県自衛隊協力会連合会事務局長、斎藤守船橋市議会議員秘書黒坂氏などが参加された。県隊友会からは小渕会長、内田八街支部長、鬼島前八街支部長、若梅山武東金支部長、大根・筒井各理事役、事務局長、会員が参加した。

最初に副会長である吉成庸子氏、理事長である佐々木英嗣氏(四街道支部会員)の挨拶に続き、中尾同会事務局長から規約(案)、組織・役員(案)、活動方針(案)などの説明の後、質疑・議決が行われ、異議なく発会が承認され、同会は発会した。

中尾事務局は、「今、憲法改正について、反対意見のみが目立っている。今後、憲法に対する認識が深まり、議論が進むよう、小さな一步を踏み出しが大切と考え、発会を目指して来た。今後、多くの市民に参加して貢うよう活動して行きたい」と発会の抱負を述べた。

佐渡四街道市長は、「隊員・家族を含めて自衛隊が活動しやすい環境を作ることが大切である」と述べられ、また奥野衆議院議員は、「北朝鮮有事で邦人救出はどうす

るかなご現実的な議論が必要、また国会でも国民や国を守っていくためどうするか議論することが必要、憲法改正是反対の人を含めて議論を深めていくべき」と述べられた。

会は、「静観することなく、先ず学ばう」を合言葉に、今後、四街道市議団、県自衛隊家族会四街道支部、四街道市自衛隊協力会、隊友会四街道支部会員などが中心とな

り、憲法に関する勉強会や講演会を四街道市文化センターにおいて数次にわたって開催していく。【事務局】

3 県防災備蓄品の払出し作業

5 その他、千葉県が管内市町村に対する支援等を円滑に行うための事務及び作業

の5項目。特に、3項「県防災備蓄品の払出し作業」の協力は、県内で災害が発生した際に、県の要請を受け、県内10万所に配置されている防災備蓄倉庫からいち早く防災物品・資材を払出す作業協力であり、全国各県の協定にはない千葉県としての特色ある協力内容である。今後、県としては、協定締結をスター

トライノとして、県の体制充実などを図るとともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

ともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

「四街道市憲法改正推進市民の会」発会の会

3月31日(土)、10時から四街道市文化センター会議室において、中尾英夫四街道支部長(市民の会事務局長)が中心となり発会の会を開いた。来賓として、奥野統一郎衆議院議員、佐渡齊四街道市長、池田由紀子千葉県自衛隊協力会連合会事務局長、斎藤守船橋市議会議員秘書黒坂氏などが参加された。県隊友会からは小渕会長、内田八街支部長、鬼島前八街支部長、若梅山武東金支部長、大根・筒井各理事役、事務局長、会員が参加した。

最初に副会長である吉成庸子氏、理事長である佐々木英嗣氏(四街道支部会員)の挨拶に続き、中尾同会事務局長から規約(案)、組織・役員(案)、活動方針(案)などの説明の後、質疑・議決が行われ、異議なく発会が承認され、同会は発会した。

中尾事務局は、「今、憲法改正について、反対意見のみが目立っている。今後、憲法に対する認識が深まり、議論が進むよう、小さな一步を踏み出しが大切と考え、発会を目指して来た。今後、多くの市民に参加して貢うよう活動して行きたい」と発会の抱負を述べた。

佐渡四街道市長は、「隊員・家族を含めて自衛隊が活動しやすい環境を作ることが大切である」と述べられ、また奥野衆議院議員は、「北朝鮮有事で邦人救出はどうす

るかなご現実的な議論が必要、また国会でも国民や国を守っていくためどうするか議論することが必要、憲法改正是反対の人を含めて議論を深めていくべき」と述べられた。

会は、「静観することなく、先ず学ばう」を合言葉に、今後、四街道市議団、県自衛隊家族会四街道支部、四街道市自衛隊協力会、隊友会四街道支部会員などが中心とな

り、憲法に関する勉強会や講演会を四街道市文化センターにおいて数次にわたって開催していく。【事務局】

3 県防災備蓄品の払出し作業

5 その他、千葉県が管内市町村に対する支援等を円滑に行うための事務及び作業

の5項目。特に、3項「県防災備蓄品の払出し作業」の協力は、県内で災害が発生した際に、県の要請を受け、県内10万所に配置されている防災備蓄倉庫からいち早く防災物品・資材を払出す作業協力であり、全国各県の協定にはない千葉県としての特色ある協力内容である。今後、県としては、協定締結をスター

トライノとして、県の体制充実などを図るとともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

ともに、各支部の協力を得て、県の計画実施する訓練などに参加するなど更に実行性ある協力活動が実施できるよう懇意に協力内容を図り、千葉県民の安全安心に寄与できる活動を行うこととしている。

「四街道市憲法改正推進市民の会」